

新日鐵化学株式会社
代表取締役CEO 西 恒美
エア・ウォーター・ケミカル株式会社
代表取締役社長 西川幸一良

タール共同事業会社「(株)シーケム」の事業概要について

新日鐵化学株式会社(以下、「NSCC」)および、エア・ウォーター・ケミカル株式会社(以下、「AWC」)は、両社タール事業の製造・販売・開発機能を統合した株式会社シーケムの事業開始(本年10月1日予定)に向け、検討を進めてまいりましたが、このほどその事業計画の概要がまとまりましたのでお知らせいたします。

(株)シーケムは、最適生産販売体制の構築、製品ラインアップの充実などにより、欧米の大規模メーカーと比肩する体制を整え、世界最強のタール事業会社を目指してまいります。

1. 事業計画策定の背景

NSCCは新日本製鐵株式会社グループのコークス製造過程で得られるコールタールを、AWCは住友金属工業株式会社で得られるコールタールを原料としてさまざまな石炭化学製品を産み出し、各分野での産業基礎素材として社会の発展に貢献してまいりました。

しかしながら、最大で200万トンを超えていた国内タールソースは、都市ガス源の転換(コークス炉ガスからLNGへ)などにより、現在では160万トン規模にまで減少しており、競争力強化のためには、タール成分の徹底した有効活用と設備集約が喫緊の課題となっております。

その一方で、タールの発生量が増加傾向にある中国においては、タール蒸留製品の拡大や新規参入が相次ぐなど、今後国際競争のさらなる激化が想定されています。今般の事業計画は、こうした中国をはじめとしたアジア各国、さらには欧米をも視野にいれた国際競争に打ち勝つことのできる、盤石な事業体制構築を企図したものです。

具体的には以下の諸施策により、国際競争力強化を図ります。

2. 事業強化の取り組み

(1) タール蒸留拠点の統合

NSCC、AWC2社のタール蒸留量年間約76万トン(平成15年実績)に対し、現状、両社は、北九州、姫路、和歌山、鹿嶋の4拠点に94万トン/年の蒸留能力を保有しております。コスト競争力向上のため、和歌山のタール蒸留設備は、(株)シーケムに承継せず(本年11月休止予定)、(株)シーケムは、3蒸留拠点、年間蒸留能力約83万トン体制でスタートいたします。

これにより(株)シーケムは、設備稼働率向上、生産効率向上を図り、国際競争に打ち勝つことのできる事業基盤を構築します。

(2) 無水フタル酸生産拠点の統合

無水フタル酸は、可塑剤や塗料、不飽和ポリエステル樹脂等に使用されておりますが、国内の需給ギャップの拡大が続くなかで、原料価格の高騰により、事業環境は厳しくなっております。現状、NSCCは、タール軽質分の主要製品であるナフタリンを原料に、堺フタル酸工場(大阪府堺市、年産能力3万5千トン)および九州製造所タールケミカル工場(福岡県北九州市、年産能力4万5千トン)の2拠点で無水フタル酸を製造しておりますが、(株)シーケムは、競争力優位にある九州製造所の設備のみ承継し、NSCC堺の無水フタル酸設備は、来年6月末をもって設備休止の予定です。

これにより(株)シーケムは、ナフタリンとその誘導品である無水フタル酸について、その事業基盤がさらに強固なものとなります。

(3) タールファイン製品販売機能の集約

タールからの精密蒸留品(タールファイン製品)につきましては、従来からNSCCおよびAWCの両社がその事業強化に共同で取り組んできた領域ですが、当該事業は、今後AWCにおいて戦略的な事業強化を図るファインケミカル事業と事業連関性が高いことから、(株)シーケムは、当該事業領域の生産に特化し、販売はAWCに集約いたします。

これにより(株)シーケムは、販売・物流体制の合理化を計るとともに、AWCとタールファイン事業の情報・戦略を共有化することで、よりの確な市場対応を進めてまいります。

(4)さらなる事業強化の方策

タール重質成分の付加価値向上

ピッチコークス事業、電極用バインダーピッチ等に加え、両社の蓄積技術を活かし、今後市場規模の拡大が期待できるアルミ精錬用メルトピッチ市場への進出を視野においた、タール重質成分の付加価値アップの検討を進めていきます。

アルミ生産は、年間2～4%の伸びが期待されており、これに連動して、メルトピッチの需要が高まってきております。一方で、欧州・北米タールの減少に伴い世界的にピッチの供給能力が限界に達しつつあり、この需要に対応すべく、同事業分野への進出を視野に入れ検討してまいります。

カーボンブラック原料油の生産・物流体制の戦略的な見直し

両社はこれまで、タイヤ向けカーボンブラック原料油を供給してまいりましたが、これについては、グループ会社で進めるカーボンブラック事業と連携した展開を図るほか、生産・物流体制の戦略的な見直しを進めてまいります。

【新会社の概要】

社名：株式会社シーケム(英文名:C - Chem Co.,Ltd.)
設立：平成16年10月1日(共同新設分割による)
資本金：3億円
株主：NSCC 65%、AWC 35%
本社：東京都品川区西五反田7丁目21番11号
代表者：見越 和宏(現 NSCC 取締役シニアエグゼクティブオフィサー コールケミカル事業部長)
生産能力：タール蒸留能力 約83万トン/年(平成15年実績蒸留量 76万トン)
生産拠点：九州工場、広畑工場、鹿島工場
売上規模：約300億円
事業内容：
・コールタール分留物(ナフタリン類、タールファイン製品等)の製造および販売
・コールタールを原料とする炭素材料(ピッチコークス、ピッチ、カーボンブラック原料油等)の製造および販売
・無水フタル酸の製造および販売
従業員：約125名

【当事会社の概要】

新日鐵化学株式会社

設立：昭和31年
資本金：5,000百万円
株主：新日本製鐵(株) 100%
本社：東京都品川区西五反田7丁目21番11号
売上高：222,033百万円(平成16年3月期 連結)
事業内容：下記製品の製造・販売
コークス、炭素材製品、工業用ガス、基礎化学品、機能化学品、潤滑材、合成樹脂、塗料、電子材料(回路基板材料、半導体関連材料、表示デバイス材料)

エア・ウォーター・ケミカル株式会社

設立：昭和33年
資本金：3,000百万円
主要株主：エア・ウォーター(株)
本社：東京都千代田区外神田2丁目16番2号
売上高：24,136百万円(平成16年3月期)
事業内容：下記製品の製造・販売
石炭化学製品およびその二次製品、医薬中間体・電子材料などの有機化学品、コークス炉ガスの精製

本件に関するお問合せ先

新日鐵化学株式会社 総務部(広報) 辻 邦博、石井 秀雄

TEL 03 - 5759 - 2741 / FAX 03 - 5759 - 2777

エア・ウォーター・ケミカル株式会社 社長室 片桐 浩一

TEL 03 - 3258 - 3171 / FAX 03 - 3258 - 3179

以上